# LifeSize® Bridge™ 2200
# 設置ガイド

2011 年 4 月

## LifeSize Bridge 2200 のコンポーネント

LifeSize Bridge 2200 は、次のコンポーネントを含む 2U（8.89 cm、3.5 インチ）のラックマウント可能システムです。

- LifeSize Bridge 2200
- 電源コード
- シリアル コード

最高のパフォーマンスを得るには、カテゴリ 6 Ethernet ケーブル（付属していません）を使って、LifeSize Bridge 2200 をネットワークに接続してください。最低でも、カテゴリ 5e のケーブルが必要です。

***注：*** 最新の製品情報については、lifesize.com/support をご覧ください。

## 導入に際して

清潔でほこりがなく、通気性のよい場所を選んでください。熱、電気的なノイズ、電磁場が生成されるような場所は避けてください。アース付きコンセントの近くを選びます。システムを新しいまたは既存のラックに設置する場合は、LifeSize Bridge 2200 のラックへの設置を参照してください。

最適なパフォーマンスを得るため、LifeSize は、LifeSize Bridge 2200 をギガビット Ethernet ネットワークに導入することをお勧めしています。

## LifeSize Bridge 2200 の設置

LifeSize Bridge 2200 を設置する前に、重要な安全情報について、*「安全および規則に関する注意」*をお読みください。この文書は、ドキュメント CD-ROM に収録されています。また、lifesize.com/support からもご利用いただけます。

LifeSize Bridge 2200 を設置するには、次の手順に従います。

1. 製品のパッケージからすべてのコンポーネントを取り出します。
2. 設置のシャーシを準備します。システムは、次のハードウェア構成のうちいずれかで設置できます。
   - ラック マウント ブラケット（デフォルト構成）。ステップ 3 に進んでください。
   - ラックマウント ブラケットを取り除いた構成。ラックマント ブラケットの取り外しを参照してください。
   - ラックマウント ブラケットを別の位置に移動した構成。ラックマウント ブラケットの移動を参照してください。
3. システムを設置する位置を決めます。 ラックにシステムを設置する場合は、LifeSize Bridge 2200 のラックへの設置を参照してください。
4. 4 つあるネットワーク ポート（2 つは前面、2 つは背面）のいずれかに、ネットワーク ケーブルを差し込みます。ネットワーク ケーブルの反対側の端を、アクティブなネットワーク ポートに挿入します。

5. システムの背面に電源コードを差し込みます。電源コードの反対側の端を、アース付きのコンセントに差し込みます。

6. システム前面にあるシリアル ポートに、シリアル ケーブルを差し込みます。シリアル ケーブルの反対側の端を、コンピュータのシリアル ポートに挿入します。

***注：*** コンピュータにシリアル ポートがない場合は、USB- シリアル アダプタを使って、シリアル ケーブルをコンピュータの USB ポートに接続してください。背面の USB ポートは、今後使用するためのポートです。

7. システムの背面にある電源スイッチを使って、電源を入れます。電源投入と再起動を参照してください。

8. シリアル ポートを使ったブリッジの構成については、設定 LifeSize Bridge 2200 を参照してください。

## LifeSize Bridge 2200 のラックへの設置

LifeSize Bridge 2200 をラックに設置するには、同梱のラックマウント取り付け具を使用します。ラックマウントへの設置手順は、ラックにより異なります。このため、ここに記載されている手順とともに、ラックに付属の設置手順を参照してください。

ラックに設置する場合は、次のことを考慮してください。

| | |
|---|---|
| ラックの安定性 | ラックの底部にある水平調整ジャックが床に対して完全に伸びた状態で、ラックの重量全体がそれらに完全に支えられていることを確認します。1 台のラックに設置する場合は、ラックに安定器具を取り付けてください。複数のラックに設置する場合は、ラックを結合します。 |
| 空気の流れとアクセス | 通気性を保ち、簡単に保守できるよう、ラックの前面にはおよそ 63.5 cm（25 インチ）、ラックの背面には 76 cm（30 インチ）の隙間を空けてください。 |
| 動作温度 | 閉塞した、またはマルチユニット ラック アセンブリに LifeSize Bridge 2200 を設置すると、ラック周辺の動作温度が、室内温度よりも高くなることがあります。最高定格動作温度は、摂氏 40 度です。 |
| 回路の過負荷 | 電源回路への機器の接続を考慮します。また、過電流保護や電源配線には回路の過負荷が発生する可能性があり、その影響についても注意してください。この点を考慮する場合は、機器の定格板に注意を払ってください。 |
| 信頼できるアース | 信頼できるアースを常時維持する必要があるため、ラック自体が接地されていることを確認してください。テーブルタップなど、分岐回路に直接接続するのではなく、電源接続に特定の注意を払ってください。 |

### ラックマウント取り付け具の位置決め

LifeSize Bridge 2200 には、次のラックマウント取り付け具が付属しています。

- シャーシの両側前面に取り付ける、4 本の平頭ネジ付きラックマウント金具（1 個）
- シャーシの両側中央に取り付ける、なべ頭ネジ（4 本）とワッシャー（4 個）
- シャーシの両側背面に取り付ける、なべ頭ネジ（4 本）とワッシャー（4 個）

ラックマウントのブラケットはそのままの位置に残す、完全に取り除く、シャーシ両側の中央または背面側に移動できます。

### ラックマント ブラケットの取り外し

1. シャーシの右側で、シャーシから平頭ネジ 4 本およびラックマウント ブラケットを取り外します。

   ***注：*** ブラケットをシャーシの別の位置に移動させる場合は、この手順すべてを飛ばし、ラックマウント ブラケットの移動のステップ 2 まで進んでください。

2. シャーシ右側の中央位置から、上 2 本のなべ頭ネジとワッシャー 2 個、シャーシ前面に一番近い下のなべ頭ネジ 1 本とワッシャー 1 個を取り外します。
3. シャーシ右側の前面位置に、下側の 2 つの穴のなべ頭ネジ 2 本とワッシャー 2 個、シャーシの前面に最も近い上の穴のなべ頭ネジ 1 本とワッシャー 1 個を取り付けます。
4. すべてのネジを 11.52 kgf・cm のトルクで締め付けます。
5. この手順を繰り返し、左側のラックマウント ブラケットを取り外します。

### ラックマウント ブラケットの移動

1. シャーシの右側で、シャーシから平頭ネジ 4 本およびラックマウント ブラケットを取り外します。
2. ブラケットを移動する場所から、シャーシの中央または背面のいずれかで、なべ頭ネジ 4 本とワッシャー 4 個を取り外します。
3. ステップ 2 でネジとワッシャーを取り外した位置に、平頭ネジ 4 本を使って、シャーシにブラケットを取り付けます。
4. なべ頭ネジ 4 本とワッシャー 4 個をシャーシの前面の位置に取り付けます。
5. すべてのネジを 11.52 kgf・cm のトルクで締め付けます。
6. この手順を繰り返し、左側のラックマウント ブラケットをシャーシ左側の同じ位置に移動します。

### システムのラックへの設置

ラックマウント ブラケットを正しい位置に取り付けたら、ラックにシステムを設置します。

1. ラックの希望する位置に、システムを並べます。

   ***注：*** セットアップの接続や保守が簡単に行えるよう、シリアルポートへの十分なアクセスがあることを確認してください。

2. ラックに適した取り付け具（付属していません）を使って、システムのラックマウント ブラケットをラックに取り付けます。

## 電源投入と再起動

システムの背面にある電源スイッチは、システムの主電源をコントロールします。スタンバイ電源は、AC 電源コードが差し込まれていて、電源スイッチがオンの場合に利用できます。電源スイッチをオフにすると、スタンバイ電源もオフになります。

システムの前面にある「リセット」ボタンを押し続けると、再起動などの操作を実行できます。LED インジケータは、次の状態を示します。

| LED | インジケータ |
|---|---|
| **システム ステータス / リセット** | 「Reset（リセット）」ボタンを押していない場合：<br>• 青の点灯 - システムはアイドル状態です（現在または予定されている通話はありません）。<br>• 青の点滅（速い）- システムが使用中です（通話の進行中）。<br>• 青の点滅（遅い）- スケジュールされている通話の待機中です。<br>• 紫の点灯 - システムのアップグレードが進行中です。<br>• 赤の点灯 - 重大なエラーが発生しました。<br>「Reset（リセット）」ボタンを押すと、インジケータが次の状態を巡回します。<br>• 青と赤の交互点灯 - ボタンを放すと、構成を変えずにシステムが再起動されます。<br>• 緑の点灯 - ボタンを放すと、システムが再起動され、すべての設定がデフォルト値にリセットされます。<br>• 緑の点滅 - ボタンを放すと、システムが再起動され、すべての設定がデフォルト値に戻り、別のパーティションに切り替わります。<br>• 青の点灯 - ボタンを放しても、再起動や値の変更は行われません。 |
| **ネットワークの活動 / 速度** | ネットワーク ポートが黄色に点灯する場合は、有効なリンクを示します。黄色の点滅は、有効なリンクとポートでのネットワーク活動を示します。アクティブなポートでは、2 つ目のインジケータが、次のように速度を示します。<br>なし / オフ - 10 Mb/s<br>緑 - 100 Mb/s<br>オレンジ - 1000 Mb/s |

# 設定 LifeSize Bridge 2200

システムを起動したら、コンピュータとシステムを Ethernet ケーブルで直接接続してから LifeSize Utility を使って、またはシリアル ケーブルとターミナル プログラムを使って、IP アドレスを設定します。

## Ethernet ケーブルを直接接続する場合

1. システムにその他の Ethernet ケーブルが差し込まれていないことを確認します。
2. コンピュータとシステムに Ethernet ケーブルを取り付けます。
3. DHCP アドレス取得がタイムアウトになるまで、およそ 30 秒間待ちます。

   それから、コンピュータを 169.254.x.x の IP アドレスに設定します。
4. LifeSize Utility を使用して、システムをデフォルトの IP アドレス 169.254.1.1 に設定します。このユーティリティのインストールと使用については、『LifeSize Bride 2200 管理者ガイド』を参照してください。
5. ユーティリティに接続したら、システムの別のポートに、主要ネットワーク ケーブルを差し込みます。

## シリアル接続を使用する場合

1. コンピュータで、HyperTerminal、Tera Term、Cygwin、PuTTY などのアプリケーションを使って、シリアルポートへの接続を開きます。システムに該当する COM1、COM2、または COM3 を使用します。
2. 次のようにシリアル接続を設定します。
   - ボーレート - 9600
   - データ ビット - 8 ビット
   - パリティ - なし
   - ストップ ビット - 1 ビット
   - フロー制御 - なし
3. プロンプトで、デフォルト管理者としてログインします。ユーザー名とパスワードは両方とも `admin` です。
4. `set password` コマンドを使って、admin パスワードを変更します。パスワードは、5 文字以上で指定してください。LifeSize では、大文字と小文字、数字を組み合わせたパスワードを使用することをお勧めしています。
5. IP アドレスまたは DHCP を使って、ネットワークを設定します。

   ***注:*** 静的 IP アドレスを設定する場合は、`set gateway <gateway-address>` コマンドを使って、まずゲートウェイを設定する必要があります。ポートを接続する前にゲートウェイを設定しないと、アドレスが変更され、ルーティングが不可能になる場合があります。たとえば、次のように指定します。`set gateway 10.10.10.1`

   `set eth`*N* `<dhcp>|<`*ip-address*`>/<`*mask-size*`>` [*broadcast*]`|<`*ip-address*`> <`*netmask*`>` [*broadcast*]

   たとえば、ネットワーク ポート 0 を静的 IP アドレス 10.10.10.5、サブネット マスク 255.255.255.0、ブロードキャスト アドレス 10.10.10.255 に設定するには、次のように入力します。

   **set eth0 10.10.10.5 255.255.255.0 10.10.10.255**

標準以外のブロードキャスト アドレスを使用していない限り、このコマンドでブロードキャスト アドレスはオプションです。

***注：*** VLAN トランクをブリッジに接続する場合は、そのインターフェイスの VLAN タグを設定する必要があります。

```
set ethN <vlan {0..4094}>
```

例：

```
set eth0 10.10.10.15/24
```

6. ブリッジ ネットワーク ポートは、デフォルトで、自動ネゴシエート速度および全二重設定に設定されます。設置に固定速度と全二重が必要となる場合は、`set ethN` コマンドを使って、ネットワーク接続の速度（10、100、1000 Mb/s）とポートの全二重または半二重を設定します。

   ```
   set ethN <auto>|<{10|100|1000} {full|half}>
   ```

7. 現在の設定を表示するには、`show all` コマンドを実行します。シリアル ポートから実行できるその他のコマンドについては、シリアルポートからのその他の設定を参照してください。
8. `exit` と入力し、シリアル接続を閉じます。
9. システムとコンピュータからシリアル ケーブルを取り外します。
10. LifeSize Utility を開き、システムをさらに設定します。

## シリアルポートからのその他の設定

システムのその他の設定については、次のオプション コマンドを使用してください。

コマンドの一覧を表示するには、`help` と入力します。

コマンドの使用に関するヘルプを表示するには、`help command` と入力します。

### NTP サーバー コマンド

システムの NTP サーバーを設定するには、`set ntp <ntp-server>` コマンドを使用します。NTP サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を指定します。コマンドにつき設定できる NTP サーバーのアドレスは 1 つです。最後に設定したアドレスがそれまでの設定を上書きします。

### システムの時間コマンド

システムの時間を表示するには、`show time` コマンドを使用します。

システムの時間を手動で設定するには、`set time` コマンドを使用します。

```
set time [MM/DD/YYYY] hh:mm[:ss]
```

### タイムゾーン コマンド

システムの現在のタイムゾーンを表示するには、`show timezone` コマンドを使用します。

システムのタイムゾーンを設定するには、`set timezone` コマンドを使用します。ここで、*zone* は都市名、都市名と地域名、またはタイムゾーン識別子です。

```
set timezone <zone>
```

*例* :

```
set timezone Chicago
```

指定できる値の一覧を表示するには、`help zones` コマンドを使用します。

### SSH 設定コマンド

SSH 設定を表示または指定するには、`show ssh` コマンドを使用します。

### システム リセット コマンド

システムをデフォルト値にリセットするには、`reset <defaults [swap]>` コマンドを使用します。前のインストールを使用して、システムをリセットするには、swap 引数を使用します。

LifeSize Utility のインストール、またはブラウザからの設定に LifeSize Utility を使用する方法については、『LifeSize Bridge 管理者ガイド』を参照してください。

**April 2011**


## Copyright Notice

©2010–2011 Logitech, and its licensors. All rights reserved.

LifeSize Communications, a division of Logitech, has made every effort to ensure that the information contained in this document is accurate and reliable, but assumes no responsibility for errors or omissions. Information in this document is subject to change without notice. Companies, names, and data used in examples herein are fictitious unless noted. This document contains copyrighted and proprietary information which is protected by United States copyright laws and international treaty provisions. No part of the document may be reproduced or transmitted, in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without the express written permission from LifeSize Communications.

## Trademark Acknowledgments

LifeSize, the LifeSize logo and other LifeSize marks, are registered trademarks or trademarks of Logitech. All other trademarks are the property of their respective owners.

## Patent Notice

For patents covering LifeSize® products, refer to lifesize.com/support/legal.


## Contacting Technical Services

LifeSize Communications welcomes your comments regarding our products and services. If you have feedback about this or any LifeSize product, please send it to feedback@lifesize.com. Refer to lifesize.com/support for additional ways to contact LifeSize Technical Services.